

平成 29 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	東栄会館	所管課	男女共生・生きがい推進課
所在地	岐阜市柳津町東塚二丁目151番地		
指定管理者名	東栄会館管理運営委員会		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	926,000円		
施設の設置目的	地域住民の連帯意識を高め、学習、保育、休養、及び集会の用に供し、健康で文化的な近隣社会の構築とその発展に寄与するため。		
施設概要	・建築年月:平成6年3月 ・敷地面積:1,406.27㎡ 延床面積:343.85㎡ ・休養室、保育室、学習室、集会室		

●利用状況

		H29 下半期	H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期	H27 上半期
利用者数(単位:人)		516	2,548	2,136	1,703	1,465
各室稼働状況(%)	休養室	9.05	24.76	17.57	12.97	9.34
	保育室	1.13	26.32	18.54	17.18	13.43
	学習室	9.46	57.23	49.2	39.55	38.32
	集会室	2.00	8.24	11.5	8.44	8.08

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②苦情への対応	供用日・利用時間を遵守している。苦情は特になかった。
施設管理	①清掃、点検を常に行う。	部屋の清掃は利用者が行い、外の清掃は委員長が行っている。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	誘導灯蛍光灯取り換え、エアコンの点検を行った。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	利用申請書は、委員長宅に適切に保管している。鍵は、委員長と、自治会長3名(保管のみ)が保管していて、非常時にも対応可能である。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	会館にアンケート回収箱を設置している。
利用者アンケートの実施結果	アンケートの回収無し
利用者からの要望・苦情と対応・改善	特になし

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	岐阜市柳津地区学習等供用施設の 運営上の基本方針	・利用者が利用しやすいサービスの向上と市民の平等な 使用を確保する事を基本方針とした運営をしているか ・特定の団体及び個人に有利又は不利となる運営をして いないか	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書 の内容が、 対象施設の 効用(設置 目的)を最大 限発揮する ものである こと	地域の生涯学習及びコミュニティ活動 の推進を行っていく上で方針と主 な事業計画	・地域の運営意識を高め、学習、保育、休養及び集会の 用に供し、健康で文化的な近隣社会の構築とその発展 に寄与しているか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法 及び対応方策など	・お客様アンケートを実施して利用者ニーズを把握し、そ の声をもとに、より良い施設へと改善しているか ・利用促進、利用者増の方策を考えているか	B	B	B
		区分評価				B
効率性	事業計画書 の内容が、 管理経費の 縮減が図ら れるもので あること	施設管理を行っていく上での方針と 具体策	・会館の清掃・点検を常に行うなどして、利用者に使用し やすいように会館の環境を整えているか	A	A	A
		指定管理経費の妥当性と経費縮減 の方策	・エアコンの設定を、夏は28℃・冬は18℃としているか ・エアコンのフィルターの掃除を年2回以上行っているか	A	A	A
		効率的な運営を図るための組織の構 造	・鍵の管理は、委員長が行っているか ・使用申請を受け、委員長は使用許可の交付を行っている か	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書 に沿った管 理を安定し て行う物的 能力、人的 能力を有し ていること	必要人材の配置と職能及び人材育 成の方策	・使用者に対し使用の際の遵守事項を徹底させているか	A	A	A
		リスクへの対応方策(利用者の安全 確保策、防止策、非常時の対応マ ニュアルなど)	・異常や事故等緊急事態を見つけたら速やかに市に報 告しているか ・防火管理者として担当業務を遂行しているか	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書 の内容が、 岐阜市ある いは施設が ある特定の 地域(以下 「地元」とい う。)の振 興、活性化 などに貢献 できるもの であること	地域の生涯学習、コミュニティ活動の 推進のため、ニーズを把握し、地域と 一体となって事業推進ができる組織 的な基礎があるか	・運営組織が、地域の各種団体より選出された者で組織 されているか	A	A	A
		地元の住民の雇用及び貢献に関す ること	・運営組織が、地域に居住する者で組織されているか	A	A	A
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	事業計画に従い良好に運営できている。
前回までの意見を 踏まえた取組み状況	意見は特になかった。
今後の取組み	これまでどおり、適切な管理に努める。

●所管課の意見

当施設は、地域活動の拠点として、地域の各種団体代表者により構成された組織で運営されており、利用者目線に立った管理運営が行われている。
定期的に施設の清掃、設備の点検を行っており、誘導灯、蛍光灯の取り換え、エアコンの点検を行うなど、利用者が快適に使用できるよう環境整備に努めている。
以上のことから、適正な施設運営が行われていると評価できる。

●指定管理者評価委員会の意見

・施設の安全に留意した管理がしっかりとされている。
・非常に限定された地域の中で利用されており、現在の利用者以外の新たな利用者が生まれる仕組みになっていない。
・このまま、これらの施設が指定管理で続けていくことには、課題があると思われる。この5年間で今後の施設のあり方について一緒に検討していきたい。